

東光寺たより65

文責 東光寺英隆

タケノコ豊作です♪

月曜日は炭焼きの活動の日ですので、会員さん達が集まり、タケノコを茹でるといこの時期ならではの活動を♪前にもこのたよりでタケノコを茹でる様子はお伝えしましたが、此度は多くて、窯を増設して茹でます♪季節の恵みに感謝しきりです♪



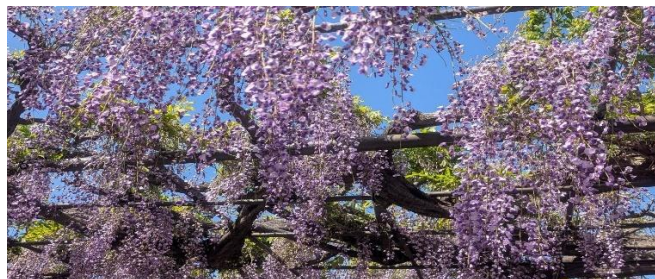
伏見稻荷大社羽島支部を表敬訪問♪

住職の長年の友達で神主の中川敦詞師を訪問しました。この時期、先述した藤の咲く時に羽島は別院の藤を一緒に愛でるべく、表記の神社を訪ねるようにしています♪気さくな師は、敬虔な一面は勿論の事、母親の免許更新の付き添いしたりと親孝行な神主です♪懇ろにお経を誦み大黒さんの徳に触れてまいりました♪



羽島別院へお参り♪

多宗派のお寺へお参りする案件も増えた住職♪此度は藤の時期は表記のお寺へ必ずお参りに赴くようにしています♪友達の神主さんが紹介して下さって数年経ちます。此度も有難いご縁をいただいております♪



佐吉大仏へお参りしました♪

佐吉大仏は、美濃の聖人永田佐吉翁によって、宝暦9年（1759）に建立された青銅の釈迦牟尼仏です。諸国巡礼の旅先で大病にかかった佐吉翁が、神仏に祈り全快したことを感謝して建立したと伝えられています。佐吉翁は、江戸時代中期の美濃の国羽栗郡竹ヶ鼻村の出身でもあり佐吉は慈悲の精神、至高の親孝行、匿名で行う数々の社会奉仕など、その徳の素晴らしさにより、地域の尊敬を集めてきました。また、「美濃聖人」と称せられ、二宮尊徳などと同様に、国定教科書に採用された偉大な人物です。佐吉翁の墓は竹鼻町の本覚寺にあり、多くの方がお参りに訪れます。此度も引き続き表記の大仏へ表敬訪問して遺徳を偲んでまいりました。



実は現在の大仏様は二代目であり、初代の大仏様は江戸から船で運搬中に嵐に遭遇してしまい、船員が沈没を避けるためにやむをえず遠州灘に沈めてしまったそうですが、佐吉翁は決して責めることなく「海に沈んだ仏様もきっと海を守ってくださるだろう」と言われたそうです。このエピソードが住職の心につきささり、毎年一度はお参りをするようにしているのです♪

トイレの改修工事に着手しました♪

長年の懸案事項の一つのトイレを改修する工事に至った訳でございます♪お客さんも多くなり、それに伴い、早急に取り掛からねばならない工事でしたので、住職も無事竣工を祈念してからの着工となりました♪



本山の寺庭研修会に参加しました♪

当山の寺庭が表記の研修に参加しまして、応分の所得等がございました♪加えて仲間の寺庭さんとの交流を含め、予習等に時間を割いて用意していった甲斐が有ったというものです♪研修は講師の法話等を拝聴し、今後の寺の法務に繋げていける事かと奉告いたします♪



ラベンダーが見頃を迎えました♪

色々と花が咲いてきます♪花いっぱいのお寺にしようって感じでしょうね。せっせと植えた花があちこちに♪此度は、閑雲と書かれた石碑の前のベランダが見頃を迎え、管長さんの遺徳を偲ぶ為に咲いてくれたんだろうと思います♪



百ヶ日忌を厳修しました♪

表記のお弔いを厳修して、一通りのお参りは全て完遂して、ホッと胸を撫でおろす住職ですが・・・引き続き納骨を始めとするお参りが有ったりと気が抜けませんが、全て難有い事だと・・・お寺さんは依頼が多いのがええのじゃ。必要とされるのが大事なじゃぞと先日、お参りした老師が述懐されておいでたのが懐かしい住職♪至心に勤めてまいろうと気持ちを新たにすることがありました♪

